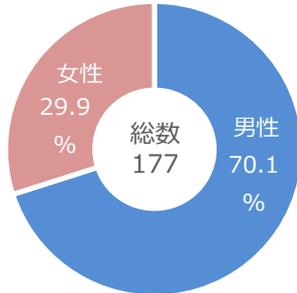


# 4. 部位別《胃》

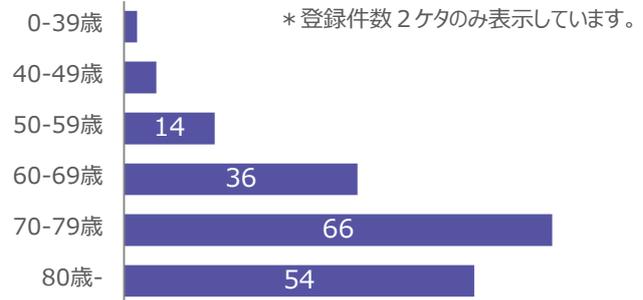
2020年症例

\* 分類方法：癌腫のみ（国立がん研究センター 院内がん登録全国集計 病期分類対象コードに準じる）  
 \* 症例区分：「自施設初回治療開始」

## 4-1. 男女比



## 4-2. 年齢別登録件数



## 4-3. 岡山県施設別登録件数割合

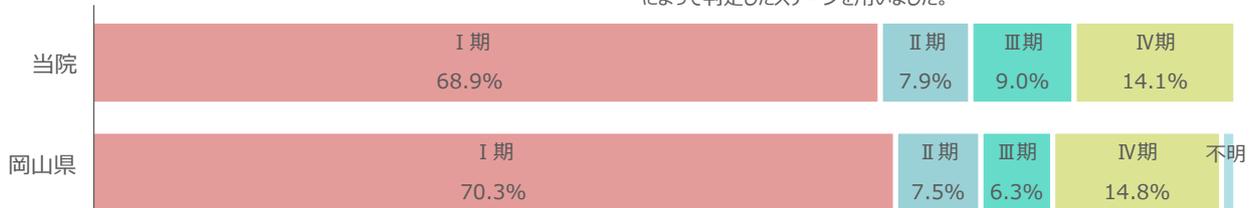
\* 症例区分：「その他」のみを除いています。



\* 岡山県：がん診療連携拠点病院9施設で集計しています。（国立がん研究センター 院内がん登録全国集計結果閲覧システムより）

## 4-4. 総合ステージ割合(UICC第8版)

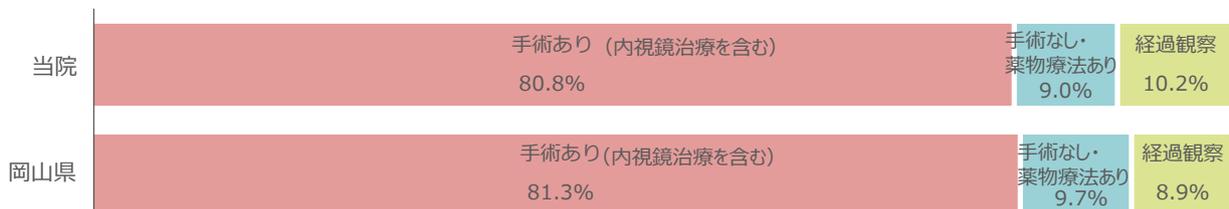
\* 手術で切除したがんの組織診断から判定した術後病理学的ステージを最優先したステージ。手術がなされない等の理由で判定できない症例は、画像診断等によって判定したステージを用いました。



\* 岡山県：がん診療連携拠点病院9施設で集計しています。（国立がん研究センター 院内がん登録全国集計結果閲覧システムより）

## 4-5. 治療別割合

\* 岡山済生会外来センター病院で行った薬物療法は含みません。



\* 岡山県：がん診療連携拠点病院9施設で集計しています。（国立がん研究センター 院内がん登録全国集計結果閲覧システムより）

## 4-6. 手術内訳



検診や他疾患経過観察中に発見される早期がんも多く、内視鏡手術にも力を注ぎ、手術のうち5割以上を占めています。最も多い内視鏡手術は内視鏡下粘膜下層剥離術(ESD)です。また、IV期の方が約14%を占めており、うち58.6%の方が手術や薬物療法の治療を受けています。当院では多職種で構成された緩和ケアチームがあり、より質の高い緩和ケアの提供も行っています。